

内緒の話

その2

平成元年9月2日、東京晴海丸  
2埠頭の皇太子殿下の御下り  
整列の先導も各マストごと  
より船員も乗組員の前を並  
ぶ乗組員も通つて過ぎ、瞬  
終つたか、殿を抜いた瞬間、  
思わぬと、か、殿を抜いた瞬間、

と、今月の18日に乗りました。  
「瞬間の乗船を計りました。」  
「今月の18日に乗りました。」  
「瞬間の乗船を計りました。」  
「今月の18日に乗りました。」

「人は武士、山は富士なら、船  
はと言われた一世の全盛時代、  
姉の歩後をただ黙々と歩いて  
た59年、二世になりその性能  
居の設備で姉を越え、姉から奪  
つた。トロボイスも、姉から奪  
々日本丸に較べて、より多くの  
海王丸の時代と言つても過言で  
ないでしょう。」  
(注)ロフイストン・テイ・カップ・ト  
ロフイストン・テイ・カップ・ト  
日間の4時間、帆船の走でも5  
らも長い距離を走つた帆船に与え

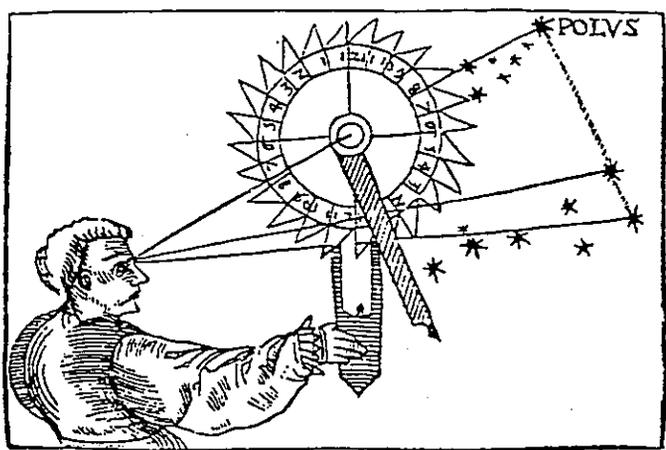
夜空を二人で制覇

波の彼方で

天の川の出来た  
古堅、浩正  
世界中心でも見えない、直  
径9万光年の中心部の厚さが約  
1・5万光年のその成立を神話  
や伝説にしている。

夫とあるところ、と仲の良い  
夫婦が、毎日が少くも、  
光を集め、毎日集めて、  
光を集め、毎日集めて、  
光を集め、毎日集めて、

美しい星のフィランドの伝説だ  
美的な話をより、こういう科学  
的ビツタリ。



Cung's Sextant, an early instrument for taking star sights

練習船での航海中の様子を紹介し  
て、航海中の実習生の悩みを今  
回は、天測と天測の紹介を、  
天測とは、天測の紹介を、  
天測とは、天測の紹介を、  
天測とは、天測の紹介を、

の士官に見つからぬ、片手に  
眺めた経験が、満天の星空を  
実習生の位置を測り、星測を  
早に自船の位置を計算する、  
も数表との30分、遅い者で、  
千光年もある離れた星の位置  
地球の上にある一点の位置を  
など話すと、大なること、  
で見られる、人工衛星からの電  
自家用車にも、人工衛星からの電  
計器を備えて、自分の位置を  
何をとも、面倒くさい、  
の育成には、欠かさない、  
※六分儀を覗いてみたい方は、  
つてもどうぞ！ (川路)

あどがき  
9月23日、10月1日は  
日共天候に恵まれ、帆展  
す月1日が、雲一つない、  
0人の帆展日和となり、秋晴れ、  
の好みが、帆展日和となり、  
1人が、帆展日和となり、  
絶く、帆展日和となり、  
の絶く、帆展日和となり、  
の絶く、帆展日和となり、  
の絶く、帆展日和となり、

